

シラバス

ナンバリングコード/科目番号	0A00314/01ZZ424	
科目名	地球規模課題と国際社会：感染症・保健医療問題	
科目名（英語）	Global Issues and Global Society: Infection, Health & Medical Issue	
授業形態	講義、演習	
標準履修年次	1-5 年次	
実施学期・曜時限等	秋 C 火・木 3・4 限	
使用教室	4F204	
単位数	1	
担当教員名	我妻ゆき子、近藤正英	
使用言語（ <input checked="" type="checkbox"/> してください）	<input type="checkbox"/> 日本語 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 英語 ・ <input type="checkbox"/> バイリンガル	
ティーチングフェロー(TF)・ ティーチングアシスタント (TA)	TA 有	
オフィスアワー等	随時（メールで予定を確認のうえ、訪問すること） 我妻ゆき子 ywagats@md.tsukuba.ac.jp	
学位プログラム・コンピテン スとの関係	汎用	知の活用力・コミュニケーション能力・国際性
	専門	
授業の到達目標 （学修成果）	<p>国連が提示している SDGs (Sustainable Developmental Goals)を題材として学内外の人たちとの意見交換や議論が十分できるようになること。(SDGSに関連した講義を受けることによる国際性の向上をもたらす学修成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学院共通科目「国際インターンシップ」や「国際研究プロジェクト」で海外渡航の支援に応募し、採択されるだけの能力を身につけること。(英語によるコミュニケーション力や活用力の向上をもたらす学修成果) ・国際社会の一員としての自覚を誘起することで、高等教育を受けた者が果たすべき役割と責任について熟考する経験を通して、国連や国際機関へのキャリアパスにチャレンジできる能力を身に着けるきっかけを得ること。 ・「持続可能な開発目標 (SDGs)」のうち、Goal 2, 3, 6 & 13に関連する国際社会が直面する「保健医療問題」について理解を深めることにより、科学的根拠を基に保健医療問題を論ずることができる能力を身につけること。 	
他の授業科目との関連	「地球規模課題と国際社会」シリーズの他の科目は本科目と密接に関係することから、それらの科目の履修を推奨する。	
履修条件	なし	
授業概要	国連が提起した「持続可能な開発目標 (SDGs)」に密接に関わる国際社会が直面する課題を理解し、大学院生各人に国際社会の一員としての自覚を誘起することで、高等教育を受けた者が果たすべき役割と責任について熟考させることを目的とする。	

	当科目は「持続可能な開発目標 (SDGs)」のうち、Goal 3に関連した、国際社会が直面する「感染症・保健医療問題」について取り扱う。疫学の基本を理解し、その基本的手法と用法について説明することができる。
キーワード	国際保健、途上国における保健医療問題、プロジェクト・サイクル・マネジメント (PCM)
授業計画	<p>第1回 (1月12日、3限) 我妻ゆき子 国際保健とその歴史</p> <p>第2回 (1月12日、4限) 我妻ゆき子 人口・リプロダクティブヘルス・栄養</p> <p>第3回 (1月14日、3限) 我妻ゆき子 PCM 手法</p> <p>第4回 (1月14日、4限) 我妻ゆき子 PCM 演習</p> <p>第5回 (1月19日、3限) 近藤正英 途上国における保健医療問題と優先付け</p> <p>第6回 (1月19日、4限) 近藤正英 途上国における保健医療制度・医療経済</p> <p>第7回 (1月21日、3限) 我妻ゆき子 SDGs・感染症</p> <p>第8回 (1月21日、4限) 我妻ゆき子 慢性疾患とリスク</p> <p>第9回 (1月26日、3限) 我妻ゆき子 プロジェクト発表1</p> <p>第10回 (1月26日、4限) 我妻ゆき子 プロジェクト発表2</p>
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	<p>授業範囲を教材にて予習し、授業後には復習すること。</p> <p>Classes are conducted in lectures and exercises. Students should prepare for the classes by reading relevant chapters of the textbook and references.</p>
単位取得要件	<p>7割以上の出席を単位取得の要件とする。</p> <p>More than 70% attendance is required for earning the credits.</p>
成績評価方法	<p>①評価方法：1. 講義での質疑応答などへの参加、PCM プレゼンテーションと、プロジェクトレポートにて評価する。</p> <p>②割合：講義での質疑応答などへの参加(20%)、PCM プレゼンテーション(30%)、プロジェクトレポート (50%)。</p> <p>③評価基準：非常に優秀とされる場合を A+、優秀である場合は A、基本理解が水準に達している場合は B、基本理解がやや不足している場合 C とする。</p>
教材・参考文献・配付資料等	<p>国連の Sustainable Developmental Goals (SDGs)のウェブサイト</p> <p>(1) https://www.unglobalcompact.org/what-is-gc/our-work/sustainable-development (UN Global Compact)</p> <p>(2) https://www.unic.or.jp/ (国際連合広報センター)</p> <p>(3) https://www.osi.tsukuba.ac.jp/sdgs/ (筑波大学・Driving Sustainable Development)</p> <p>Global Health 101 3rd edition by Richard Skolnik, Jones & Bartlett Learning, 2016</p>
その他 (受講生にのぞむことや受講上の注意点等)	